

# 第2回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

## 平成25年度事業計画（案）

## 平成 25 年度事業計画（案） 「我々の将来は約束されていない、切り開いていくのだ」

### 1. はじめに

日本は近隣諸国との外交が悪化し、日本経済は大きなダメージを受けた。現代のグローバル社会では、外交問題があらゆる面に影響することを再認識した。一方国内では、東日本大震災の復興をはじめとする社会保障と税の一体化改革、原発事故によるエネルギー政策の転換など難題を抱えている。医療においても、少子高齢化や人口減少が、世界的にも前例のないスピードで進行する時代において、がん検診の受診率向上など健康増進の総合的な推進、医療費の適正化、病院・病床機能の分化・強化、在宅医療の強化など多くの課題を抱えている中で、高齢者の増加による医療・介護者、特に医師不足が顕著と報告されている。加えて現代の医療において、医療技術・機器の高度化、インフォームドコンセントの実践、医療安全の確保などに医療スタッフの業務量が大幅に増大し、大きな負担となっている。これらの現状に対し、医師不足対策のみならず、医療スタッフの再編成、業務の見直し、そして各医療職種の業務拡大を図り、効率的で質の高い医療を実現させるために、例えば看護師に関する高度な専門知識と技能が必要な行為の明確化と能力認証の仕組みの導入、診療放射線技師などの業務範囲の拡大など、チーム医療の実現へ大きくシフトする方向で進んでいる。

診療放射線技師として社会に、医療に貢献するために、今やること、将来のためにやっておくべきことを考えた。基本はプロフェッショナル・スピリットである。医師でもない看護師でもない診療放射線技師として、患者さんのために何ができるか。その答えは今やっている仕事の精度を高め、その成果に責任を持つことだと考える。プロとして、他者評価ではなく自分の仕事の評価ができなければプロではない。患者の状態が分かり、

装置の性能が分かる診療放射線技師が現場の強みを生かさず、後からレポートを書いても意味がない。画像を最初にみる一番バッターの役割を果たさずに四番バッテリーになってはいけない。

我々の行っている業務評価は「診断能」だと思う。この診断能評価をできるように、読影力を磨くことが求められる。レポートを書くことが第1ではなく、臨床医に診断しやすい、分かりやすい画像を提供することが優先される。そして当然ながらこの仕事は、大変ハードルの高いものだ。

本会は、職能団体のあるべき姿を目指す。あるべき姿とは、日本診療放射線技師会と強い連携を得て活動することだ。本会のみでの活動では、自己満足に過ぎない。認定も読影も全て頂上へつなげていかなければ評価されない。日本中の診療放射線技師が束になってかかっていたら、前途は明るくない。そして本会の 61 年間の活動が、その中心的役割を十分に果たすと信じている。

本会は、常に顧客満足という視点から運営してきたが、本年も同様に、県民と会員が期待する職能団体を目指して理事一同全力で走る。ご支援をいただきたい。

### 2. 基本方針

- 1) 「*improvement* 改善」と「*diversity* 多様性」
- 2) 「*complete lifelong education* 生涯教育の充実」
- 3) 「*study and investigation* 研究と調査」
- 4) 「*cooperation* 連携から *collaboration* 協働」

### 3. 1. 職業人としての質の向上

- 1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ・埼玉県診療放射線技師学術大会
- ・胸部撮影認定講習会
- ・上部消化管検査認定講習会
- ・フレッシューズセミナー（SARTセミナー）
- ・放射線技術部門マネジメント・セミナー（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成）
- ア、技師長 イ、役職者 ウ、中堅職員
- ・CT検査認定講習会
- ・MRI基礎講習会
- ・救急セミナー（日本救急撮影技師認定機構との共催）
- ・読影力向上講習会（地区開催セミナー）
- ・放射線工業界との合同開催企画
- 2) 会員講師の育成と体制づくり
- 3) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
  - ・関東甲信越放射線技師学術大会への協力
  - ・埼玉県医師会主催事業への支援
  - ・埼玉臨床画像研究会
  - ・日本放射線技術学会関東部会との合同企画
  - ・日本診療放射線技師会との合同開催企画
  - ・各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進）
- 4) アドバイザー（技術・業務支援）の創設・育成
- 5) 研修病院紹介
- 6) 医療被ばく線量の適正化
- 3. 2. 組織運営に関わる事業**
- 1) 行政との連携・埼玉県医療整備課との頻繁な情報交換
- 2) 会員情報の適正管理
- 3) 診療放射線技師業務の実態調査（仕事の質・量について）
- 4) 入会促進事業の強化

### 3. 3. 公益目的事業

- 1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- 2) 市民公開講座の開催
- 3) 地域自治体主催事業への参画
- 4) 医療画像展の開催と支援
- 5) 県民向けホームページの充実
- 6) 医療被ばく相談の迅速な対応
- 7) 学校（小中高）における放射線教育の担務
- 8) がん患者支援チャリティイベント リレー・フォー・ライフへの参加

### 3. 4. 編集・情報

- 1) 本会誌「埼玉放射線」の充実
- 2) 診療放射線技師向けホームページの充実
  - ・各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
  - ・学術資料などのデータベース化を推進
- 3) メールマガジンの有効利用

### 3. 5. 財務

- 1) 健全財務状況の継続
- 2) 公益法人会計基準遵守

### 3. 6. その他

- 1) 中長期計画の策定
- 2) 医療技術関係団体との連携
- 3) 技師会事務所長期修繕計画の立案
- 4) 日本診療放射線技師会主催講習会への協力

ご審議のほどよろしくお願い致します